

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

西川 博会長 年度目標
「ロータリーの輪を広げよう」

例会場 名古屋クレストンホテル

TEL 052-264-8000

例会日時 木曜日 12:30

プログラム・クラブ会報広報委員長 矢野雄嗣



創立 1995年3月9日
承認 1995年3月28日
会長 西川 博
幹事 加藤 久明

事務局 名古屋市中区栄 3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007号

TEL 052-263-1324

FAX 052-263-0730

Mail rc.nagoya-marunouchi@waltz.ocn.ne.jp

HP <http://www.nagoya-marunouchi-rc.org/>

第894回 例会No. 33 平成 26年3月13日(木) 晴

- ローターソング 「我等の生業」
- 出席報告 会員45名中24名出席
- 出席率 58.53% 出席計算人数41名
- 修正出席率 2月27日 95.23%
- スピーカー 地区国際奉仕委員 木村樹生様
- ゲスト 米山奨学生 全培糊さん

会長挨拶

皆さんこんにちは

地区国際奉仕委員の 木村樹生様ようこそいらっしゃいました。心から歓迎いたします。後程「国際奉仕」について卓話をいただきますようしくお願ひします。

米山奨学生の全培糊さんもようこそいらっしゃいました。



3月11日で東日本大震災から3年になります。先日法人会の主催する「南海トラフから会社を守れ」という演題で名古屋中川消防署予防課主任の後藤 直仁氏より、東日本大震災、阪神淡路大震災のマスコミではカットされて報道されなかった自衛隊、消防の救助活動の非常に厳しい状態の活動について、映像を交えて聞きました。復興には居住区域、学校、仕事、防波堤、インフラそして福島第一原発の事故の放射能の処理、原発の再稼働の問題など様々な問題があって、優先順位であったり、こんな大きな防波堤はいらないとか、現地にあった見直しも必要もありますね。性急にやることよりも長い時間をかけて進めていかなければならないこと、そして防災から減災の考えも場合によってはありますね。

そういう中で、当クラブの今年度の支援は地区の被災高校生支援(地区プログラム)で 佐藤亮太君の支援を(現地担当 支援クラブ 2520地区JETOみやぎ) 2760地区では当クラブと中部名古屋みらいが担当します。ガバナー月信の1月号に10~13ページの第2回被災高校生委員会報告の中に

♪近況♪入学して7ヶ月がたちました。
寮生活や、学校、部活動にも
なれてきて新しい仲間と楽しい
生活をしています。勉強の面が
しっかりできていらないので、
自分で勉強して頑張ります。
部活動でもまず1人になる
ように自分のレベルを上げて
頑張ります。自分の体調管理も
しっかりやろう。高校生活を楽みたいです。

私立誠和学園高等学校 R.S

とメッセージが届いています。

また11月26日には石巻のおひさま保育園の園児と先生に制服を寄贈して大変感謝されました。

以前高橋たえ子園長からいただいたお礼状の一部をよませていただいて震災当時の様子をお分かり頂きたいと思ひます。

。。。。。。
早春の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、この度は遠路より当園児のために貴重なご寄贈をいただき、誠にありがとうございます。

平成 23 年3月11日の震災で園はすべて流されてしまい、多くの方々からご支援頂きましたが”今後どうしようかと悩んでいたところのお話でしたので、本当に嬉しく感謝の気持ちでいっぱいです。大切にに使わせて頂きたいと思ひます。改めてお礼申し上げます。

今は空き店舗をお借りし保育しております。あの日、園には40名の園児がおり、お昼寝から目覚めようとしていたその時、地震が起きました。近くの二階建ての事務所へ避難しようかと迷いましたが、大津波警報が鳴り出しました。泣いている子供たちをなだめながら、パジャマの上にジャンパーを着せ、雪の舞う中、保育士の車3台に分乗、市指定の非難所へ移動しました。避難後、随時迎えに来た保護者へ子供を引き渡し、すべての子供を引き渡すことが出来たのは地震発生から3日後でした。

4日後、保育園のあった場所へ行ってみると、かろうじて残っていた柱時計は津波がきた3時55分を差して止まっていました。私達が避難した30分後でした。私達と一緒に避難した園児はすべて無事でしたが、地震直後保護者が迎えに来た園児2名が犠牲となってしまいました。今でもあの時、保護者に返したのが正解だったか自問自答の日々を過ごしております。

それでも今は園児たちの元気な笑い声、笑顔を見ると一瞬あの時のことを忘れさせてくれます。本当に子供たちは天使です。

。。。。。

この2つの支援資金は、ニコボックスで集めたお金の30%を東日本大震災復興義援金とするということで、この中からみなさまの浄財を使って支援をしています。また石巻ロータリークラブ 寺田多喜雄会長
石巻西ロータリークラブ 日野節夫会長
石巻南ロータリークラブ 三浦義介会長
今年度の会長のみなさんが現地との橋渡し役を快く引き受けていただいて、復興で忙しい中贈呈式にも出席いただきました。

初めて会ってもロータリアンの親しさで旧知の友人のように支援がスムーズにできました。

支援を受け入れる側の現地ロータリークラブの存在の有難さ、必要性を感じました。

ニコBOX

●本日の卓話は地区国際奉仕委員の木村樹生様をお迎えています。木村様、ようこそお越し下さいました。会員一同心より歓迎申し上げます。どうぞ宜しくお願いいたします。西川会長、加藤幹事、矢野、松尾、横田、岩田、成田、十文字、水野、高山、長谷川、吉田、河原、森田 (敬称略)

藤田さん 早く春が来て欲しいです！

田中さん 名古屋ウィメンズ、完走しました。応援ありがとうございました。

本日合計 34,000円

第9回理事会 議事録

平成26年3月6日(木)12:00～ 例会会場

出席者 川原、西川、後藤、藤田、永井、岩田、大岩、若原、長谷川、高山、磯部、加藤、矢野

議題

1. 入会申請承認の件 立石ゆかり様
2. 20周年実行委員会 副委員長の件
3. その他 同好会

米山奨学金

米山奨学金3月分を、次年度の米山記念奨学委員長 成田勝彦さんより全培糊さんにお渡しいただきました。



国際奉仕卓話

「国際奉仕委員会の活動について」

地区国際奉仕委員 木村樹生



国際奉仕概要

ロータリーの第四奉仕部門。

ロータリアンが国際理解、親善、平和を推進するために実施する数多くのプログラムや活動を包含するものである。多くの国際奉仕プロジェクトは、発展途上国の人道的ニーズを満たすことを目的とし、また、異なる国や文化の人々に対する認識を培うことを助長する。(『手続要覧 2010年』P285)

さらに、「ロータリアンの間に、また、一般の人々の間に理解と善意を育むことが、ロータリーの国際奉仕が果たすべき仕事である(ロータリー章典 8.050.1.)」(『手続要覧 2010年』P119)とあります。この奉仕が目指していることは、ロータリーの目的第4項「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」にあります。

(ロータリージャパンウェブより転載)

☆☆例会のご案内☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

◎3月20日(木)第 895 回例会「会員卓話」

◎3月28日(金)第 896 回例会 例会変更

「春のお花見家族会」八事山興正寺にて 18:30～

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆